



■ 2014-2015 R I 会長：ゲイリー・C. K. ホアン  
 ■ R I 第 2570 地区ガバナー：坂本 元彦  
 ■ 会長：加藤 国夫 幹事：滝沢 文夫  
 ■ 例会日：木曜日 12：30～13：30  
 ■ 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケットホール  
 Tel. 04-2963-1111

■ 会報委員長：石川 嘉彦 ■ 当番：関谷 永久  
 ■ 事務所：〒358-0023  
 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号  
 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788  
 Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

### 第20号 2840回例会 2014年 11月 20日 (木)

#### <ビジター・ゲスト>

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
福島事務所プログラムオフィサー

望月 理紗 様

#### ●会長の時間

加藤国夫会長

本日は、望月沙織様をお迎えしての卓話をお願いしております。望月様は現在、公益法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに所属し福島事務所プログラム・オフィサーとして福島からお出で頂き誠にありがとうございました。後ほど自己紹介をかねての卓話よろしくお願いたします。

今日のテーマについてはお聞きしていませんが、2011年3月11日(金)発生した東日本大震災に係わるお話しかと思います。あれから3年8カ月が過ぎ、復興計画もところによっては中々進んでいないようですが、何事においても去るもの日々に疎しと申します。記憶から遠ざかって行くものですが、東日本大震災の完全な復興までには、まだまだ長い年月が必要です。私たちの入間ロータリークラブでも希望の風奨学金として支援をいたしておりますが、今後とも支援のため協力をして行きたいと考えております。

ところで話は変わりますが、誠にくだらない話ですが、今日11月の第3木曜日はボジョレーヌーボー解禁日です。ワイン好きの皆さんには説明はいらないと思いますが、ボジョレーヌーボーとはフランス・ブルゴーニュ地方の南部の丘陵地帯、ボジョレー地方で作られる赤ワインの新種のことで、その年に採れた葡萄で作られ、その年の内に瓶詰めされ、その年の11月の第3木曜日0時に解禁されます。日本は時差の関係で世界の先進国の中で最も早く解禁の時を迎えることで、珍しい物が好きな日本人の間で一時流行になりました。

#### ●幹事報告

滝沢文夫幹事

- 11/17加藤会長以下4名で地区大会記念ゴルフ大会に出席してきました。
- 本日14：40よりFMチャッピーにて入間ロータリーを紹介する番組が放送されます。ロータリーの広報になる番組です。ご期待下さい。なお、入間ロータリークラブのホームページに詳しく書き込まれていますのでこちらもご覧ください。
- ホームページには、国際大会参加希望の会員の方へ航空券の情報も掲載されております。
- 入間ロータリークラブのホームページの活用をお願いいたします。

#### ●委員長報告

広報委員会

岩崎茂委員長

今日FM茶笛で2時40分から15分間、石川会員がイオンサテライトスタジオで第1回入間RCの地域活動等のコーナーに揃ってインタビューを受けます。

またとない広報活動です。これからも各委員長さんに出演の依頼を予定しておりますので、宜しくお願いいたします。



#### <出席報告>

田中快枝委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39名	26名	68.4%	74.4%

事前欠席連絡 6名

## ■■■講師卓話■■■

### 元国際親善奨学生からの報告（福島の子どもの今）

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 望月 理紗 様



2011年、日本人のみならず海外のみなさんにとっても忘れられない年となりました。

東日本大震災発生と、それに続く原子力発電所の事故。そんな年に、ロータリー国際親善奨学生として、イギリスに留学させて頂いたことは運命的であったと感じています。

なぜなら、日本国内でリアルタイムに行われている「復興支援活動」を非常に身近に感じる中で、理論としての「国際支援活動」をイギリスで学べたことが、私を次のステップへと動かす大きな糧となったからです。現在、私は福島県で、福島県の子どもたちが少しでものびのびと遊び、学べる環境を整えられるように支援活動を行っています。

福島県の子どもたちを取巻く環境は、震災・原発事故から三年半たった今、めまぐるしく変化しており、特に今、子どもたちが身の回りの自然に触れる機会の確保、ネットやテレビに氾濫する放射線の情報を取捨選択する力を伸ばすことが求められている。そんなニーズに答えるため、弊会では、大きく分けて次の四つのプログラムを実施しています。

#### ①放射能リテラシープログラム

大人がニュートラルに科学的に子どもたちに、自分たちが住んでいるところの放射線基準を与え、子どもたちが考える材料を教え、自分たちで選び切り開いていく。

#### ②学童支援プログラム

震災後、学童保育の希望者が増えており、学童保育環境が悪くなっており、行政で出来ないところの支援を行っている。

#### ③自然体験プログラム

三年たった今も、積極的に自然に触れる事を躊躇う親御さんがおり、子どもたちの発達に自然に触れることは大事ですので、機会を設けておもいっきり外遊びや自然に触れさせる支援。

#### ④指導者研修プログラム

セーブザチルドレンは5カ年計画で、来年の12月に支援が終了いたします。私たちが抜けた後に、自立発展性を定着させる為、子どもを守る・育てる義務がある指導者に、子どもへの接し方、遊びの紹介、虐待防止の研修等を行っている。

一年間のイギリス留学で学んだ事を思い出し、初心を忘れることなく、「子どもの権利」を実現する為に、被災地の子どもたちや、おとなたちに寄り添って、これからも活動に取組んで参ります。



#### <ニコニコBOX>

#### 忽滑谷明 S A A

加藤国夫君～万燈まつり感謝いたします。忽滑谷明君～地区大会記念ゴルフコンペは棄権し、ご迷惑お掛け致しすみませんでした。後藤賢治君～望月さん本日は宜しくお願い致します。森田英郎君～早退いたします。

本日¥13,000

累計¥387,500

#### ◆回覧、配布物

- ①国連UNHCR協会ニュースレター第32号
- ②2013～2014年度地区補助金収支報告書
- ③他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ④12/18クリスマス家族例会出欠表
- ⑤「日本橋に青空を・川に光を」署名協力願い
- ⑥2015年国際ロータリー年次大会参加ご案内
- ⑦12/7地区大会2日目マイクロバスご利用表
- ⑧「ジャパンロータリーデⅡ東京」登録申込書
- ⑨加藤会長より「論語」解説
- ⑩週報19号